

職業訓練校とは？

職業能力の開発と技術向上のための訓練施設です。

修了時試験に合格した修了生は「技能士補」と称することができ、「2級技能検定」の学科試験が免除されます。

■訓練科目

- ・木造建築科
- ・左官タイル施工科
- ・建築塗装科
- ・建築板金科
- ・畳科 **県内唯一**

■訓練期間

- ・長期課程：3年
- ・短期課程：3～6日間

見学希望の方は、いつでもご連絡ください。担当者が丁寧に説明します。



◀詳しくは福島職業訓練技能協会ホームページをご覧ください。

旧立子山中学校 ▶▶▶ 福島共同高等職業訓練校



▲木造建築科の実習



▲左官タイル施工科の実習

提案型 民間活力導入制度

あなたのアイデアで、廃校などを生まれ変わらせてみませんか？

市では、地域振興につながるアイデアや提案をお持ちで、未利用公有財産の利活用を希望する方を募集しています！

■募集施設

旧青木小学校、平田幼稚園

ほか全6施設

■利活用者の要件

利活用のアイデア・提案を、自ら実行する意思と能力(運営力、資金力、実績)をお持ちの方



◀詳しくは市ホームページをご覧ください。

■問/財産マネジメント推進課
TEL 563-3093

旧茂庭小学校 ▶▶▶ 風力発電メンテナンス技術者養成校 FOMアカデミー



▲体育館を使用した高所作業訓練



▲教室を活用した講義

市では、旧茂庭小学校を地域振興事業など有効に活用する事業者を公募しました。その結果、風力発電メンテナンス技術者養成校として利活用を行う事業者へ施設を売却し、令和4年6月に全国3カ所目の国際基準の技術者養成施設「FOMアカデミー」が開校しました。施設の特性を生かして、体育館には高所訓練施設を設置するなど、大規模で先進的な設備が整っています。既に42人が施設を利用し、研修生は飯坂温泉に宿泊するなど、地域の活性化につながっています。また、ゼロカーボンシティを目指す福島市の象徴的な施設になることが期待されています。

旧茂庭小学校	沿革
明治10年4月	創立
平成29年3月	休校
平成30年3月	閉校
飯坂小学校に統合	

■施設に関する問／
FOMアカデミー
TEL 572-5159

県内では令和12年頃までに350基以上の風車が発電を開始しますが、全国を見ると実に5000基以上の風車が稼働する予定です。世界的なエネルギーの変わり目である今、地元の電源を守るのは地元の人材が適任です。私たちは未経験の人でも福島のエネルギーに関われるようにアカデミーを設立しました。風車メンテナンス人材は全国的に不足しているのでスキルを身に付ければ長く働ける仕事です。ご興味を持った方はぜひ一度見学にお越しください。

FOMアカデミー
事務局長 菅野辰典さん

旧立子山中学校の新たな活用方法は、建築関係の職業に必要な知識や技能を学ぶ「福島共同高等職業訓練校」です。同職業訓練校はこれまで本内にありましたが、施設の老朽化などから移転が検討されていました。実習に必要なスペースを確保できるなどの理由から旧立子山中学校の活用が決まりました。

同職業訓練校は、令和4年10月に正式に移転・開校し、現在は17人の訓練生が技能習得に励んでいます。中でも「畳科」は県内では唯一の科目のため、畳職人を目指す方が県内各地から通っています。

旧立子山中学校	沿革
昭和22年4月	創立
令和3年3月	休校
令和4年3月	閉校
渡利中学校に統合	

普段は地元の工務店に勤めながら授業のある日に職業訓練校に通っています。職業訓練校では、普段の仕事では学べない知識や技術を熟練の教官に丁寧に教えていただいています。新しい校舎は冷暖房完備で広々とした作業スペースがあるので、快適に学んでいます。今年度で訓練期間を終えるので、職業訓練校で学んだことを生かして会社の中で活躍できる人材になりたいです。

福島共同高等職業訓練校
木造建築科 大槻真斗さん

■施設に関する問／
福島共同高等職業訓練校
TEL 597-7904

生まれ変わる廃校

市では、少子高齢化や人口減少といった社会構造の変化に対応するため、計画的に公施設の統合・複合化・廃止などを進めています。これにより使われなくなる土地・建物を、地域振興につながる施設として利活用するために、民間事業者のノウハウやアイデアの活用も含めて「未利用公有財産の利活用」に取り組んでいます。今号では、生まれ変わった2つの施設を紹介します。